

1. 科目名(単位数)	臨床心理学 (2単位)	3. 科目番号	
2. 授業担当教員	鈴木 愛子		
4. 授業形態	講義、討議、発表、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	臨床心理学として、不適応や障害、病、苦悩の発生原因や発生過程、回復の過程を探る科学的側面と、問題を抱える人々に寄り添いながら、適応の調整や人格的成長を促進することで問題の解消や軽減を目指す実践的側面との両面を学ぶ。そのために、心理的援助を必要とする人々の心理を理解するだけでなく、問題を理解するアセスメントの視点から各発達段階に生じやすい心理的問題や障害を理解する。また、問題の解決に向かう代表的な援助の理論や技法について理解を深める。		
8. 学習目標	1. 精神疾患や発達障害を含めて、心理的問題を抱える人々の心理を理解し、説明できる。 2. 各発達段階における心理的課題や障害を理解し、説明できる。 3. 不登校・いじめ・虐待・自死・非行問題といった代表的な心理臨床の問題を理解し、説明できる。 4. 心理アセスメントの考え方と方法について理解し、説明できる。 5. 主要な心理的援助の理論と技法を理解し、説明できる。		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	・配布資料ワークシートを活用し、専門知識を理解し、説明できるようにする。 ・学習内容の習熟度を確保するため、授業の15回目にテストを行う。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】特に指定しない。 【資料・教材】授業にてプリントを配布する		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 臨床心理学の構造、面接、査定、地域援助について理解し、説明できる。 2. 臨床心理学の役割を理解し、学んだことを実践の場でどのように応用するかを考察できる。 ○評定の方法 以下の点を総合して評価する。 1 授業態度と参加姿勢 総合点の20% 2 試験 総合点の40% 3 課題レポート 総合点の40%		
12. 受講生へのメッセージ	心の不調や悩みを抱える人を支援する臨床心理学について理解を深めます。理論だけでなく、具体的な支援方法や予防についても深く学びます。臨床心理学の知識は、私たちの日常生活の中にも活かされています。心の健康を保つためのヒントや周りの人により良い関係を築くための理解を深めることができます。		
13. オフィスアワー	授業の前後		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション	事前学習	シラバスを確認する
		事後学習	今後の授業内容について理解し、準備する
第2回	発達の過程で起こりうる心の問題	事前学習	臨床心理学にもつイメージを書き出す
		事後学習	学習した内容をワークシートにまとめる
第3回	パーソナリティの理論	事前学習	自身の特徴や傾向を言語化する
		事後学習	学習した内容をワークシートにまとめる
第4回	統合失調症	事前学習	統合失調症について調べる
		事後学習	学習した内容をワークシートにまとめる
第5回	うつ病・躁うつ病	事前学習	うつ病・躁うつ病について調べる
		事後学習	学習した内容をワークシートにまとめる
第6回	認知症	事前学習	認知症について調べる
		事後学習	学習した内容をワークシートにまとめる
第7回	災害時の心理支援：心的外傷後ストレス症など	事前学習	PTSDについて調べる
		事後学習	学習した内容をワークシートにまとめる
第8回	教育分野における臨床：発達障害、摂食障害など	事前学習	発達障害、摂食障害について調べる
		事後学習	学習した内容をワークシートにまとめる
第9回	産業分野における臨床：適応障害など	事前学習	適応障害について調べる
		事後学習	学習した内容をワークシートにまとめる
第10回	司法分野における臨床：依存症など	事前学習	依存症について調べる
		事後学習	学習した内容をワークシートにまとめる
第11回	ストレスマネジメント	事前学習	自身のストレス対処法について整理する
		事後学習	学習した内容をワークシートにまとめる
第12回	認知行動療法	事前学習	自身の考え方の特徴や傾向を整理する
		事後学習	学習した内容をワークシートにまとめる
第13回	アンガーマネジメント	事前学習	自身の怒りの感情との付き合い方を整理する
		事後学習	学習した内容をワークシートにまとめる
第14回	アサーション	事前学習	自身の自己主張の特徴について整理する
		事後学習	学習した内容をワークシートにまとめる
第15回	まとめとテスト	事前学習	これまでの学習内容を復習しておく
		事後学習	これまで学習した内容を教育や保育、福祉の現場でどのように活かせるかを考える